

事務事業名	戦略的広域観光振興事業	事務事業No.	452 - 14
-------	-------------	---------	----------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	商工観光課	観光係	主任	伊藤 拓也	課長	原野 正俊
施策体系	総合計画	政策	4	地域経済		
		施策	5	観光の振興		
		基本事業	2	観光まちづくりの実践		
	その他の計画	個別計画	第2次飯塚市観光振興基本計画			
根拠法令・条例・要綱等	戦略的広域観光振興事業に関する協定					
事業開始年度	令和元年度	事業終了年度	令和4年度	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	2市1町と観光協会が連携して構築してきた広域観光ルートを紹介する動画を作成し、国内外の観光客・旅行会社等へのPR活動を行うことにより、インバウンドの推進等、圏域外からの誘客促進に取組み、地域経済の活性化をめざす。					
対象	働きかける相手・もの	国内外の観光客・旅行会社				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	動画の作成・PR活動の実施				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	2市1町の広域観光情報の認知度を上昇させる				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
作成した動画の数	個	作成した動画の数	0	2	2
PR活動（Youtube広告表示）	回	Youtubeインストリーム広告表示回数	-	51,637	60,000
PR活動（旅行会社）	件	旅行会社への営業件数	408	4	-

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
PR活動（Youtube広告視聴）	回	30,000	-	30,000	30,000
説明	方向性	達成目標年度	実績	-	26,569
	維持	毎年度	達成率	#VALUE!	88.56%
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績	#DIV/0!	#DIV/0!
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績	#DIV/0!	#DIV/0!
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	政策的経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1	一般会計	款 7	商工費	
	大 2	観光振興事業費	中 22	広域観光振興事業費	
				目 4 観光費	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.21 人 1,722	0.30 人 2,343	人件費の増加に加えて、委託料を増額したため。	0.35 人 2,733
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	会計年度 1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.05 人 101	0.05 人 100		0.05 人 100
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)		1,823	2,443		
事業費	直接事業費(B)	4,280	4,295		4,295
	総事業費(A+B)	6,103	6,738		7,128
直接事業費のうち	委託料	4,280	4,295		4,295
の主な歳出内訳	-	0	0		0
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0		0
	国・県支出金	0	0		0
	市債	0	0		0
	一般財源	4,220	5,021		5,411
	その他(嘉麻市・桂川町負担金)	1,883	1,717		1,717

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	嘉飯圏域定住自立圏事業における戦略的広域観光振興事業として取り組む事業である。
	目的の妥当性	妥当	観光資源に乏しい筑豊地域において広域的に連携して観光事業を行うことは妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	本市含めた圏域全体の観光推進であるため、偏っていない。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	嘉麻市、桂川町から負担金を徴収し実施する事業である。
	負担割合の適正化	適正	2市1町の保有する観光地割による負担金であり、適切であるが、適宜割合の見直しはする必要があると考える。
	手段の最適性	最適	広域的に連携して観光事業を行うことは、話題性や相乗効果の点からみても手段として適当である。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	連携自治体と連携して事業を実施することにより、誘客に向けた動画の配信はできたものの、十分なPR活動ができたとは言えない。
	上位施策への貢献度	貢献できた	圏域の自治体と連携することにより、本市が単独で取り組む以上のPR効果・誘客効果が得られた。
	事業継続の有効性	ある	年度毎に異なる点から継続してPRを行っていくことで、多角的かつ効果的なPRが可能になる。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	作成した広報物を用いて様々な媒体によるPRを行う。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入			
今年度はyoutube等を用いて圏域内外へPRを行うことを念頭に置き、事業を実施した。また、以前作ったパンフレットをリメイクし、掲載情報を更新した上で、より見やすく使いやすいものにした。			

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★	
【成果】	2市1町の保有する観光資源を、youtubeやパンフレットをはじめとする広報物を通じてPRすることができた。
【課題】	2市1町の観光資源が筑豊地域外の県民から認知されていない。(認知度が低い)

9. 今後の事業の方向性と改善策										
成果の方向性	拡充	④	②	①	評価区分	事務事業の方向性				
	現状維持					③	⑤	一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	
	縮小					⑥	二次評価			⑤コスト・成果ともに現状維持
	休・廃止					⑦				
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト投入の方向性				
次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★										
コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策		作成した動画やパンフレットを活用し、2市1町の広域観光情報の認知度を向上させる活動に重点を置いた業務を実施する。								
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策		2市1町の観光客数や宿泊者数、市場ニーズなどのマーケティングの実施。観光振興基本計画の見直し。								

評価変更理由	一次評価のとおりとする。
--------	--------------